

指定管理者制度導入施設 モニタリング結果報告書

1 公の施設の概要について

施設の概要	名 称	秋川体育館・中央公民館
	所在地	あきる野市二宮683番地
	所管課	スポーツ推進課スポーツ推進係
指定管理者	名 称	あきる野市体育・文化施設運営事業体
	所在地	東京都中央区日本橋堀留町2-1-1
	業務内容	1 体育施設・公民館施設及びこれに附属する設備の使用に関する業務 2 体育施設における体育、スポーツ及びレクリエーションの指導及び普及に関する業務 3 体育施設・公民館施設の維持管理に関する業務 4 その他教育委員会が必要と認める業務
ホームページURL		http://www.tama-spo.com/akigawa/index.html
指 定 期 間		平成25年4月1日～平成30年3月31日

2 施設の利用状況等について

項 目	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
開館等日数(日)	312	335	337	336	335
利用者(来客者)数(人)	228,295	255,787	265,215	267,748	280,439
前年度比(人)	△14,615	27,492	9,428	2,533	12,691
前年度比(%)	94.0	112.0	103.7	101.0	104.7
利用料金(売上) 合計(千円)	13,809	13,163	13,745	13,412	13,830
前年度比(千円)	2,937	△646	582	△333	418
前年度比(%)	127.0	95.3	104.4	97.6	103.1

3 施設の収支状況について

(単位:千円)

項 目		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収 入	指定管理料	44,200	46,069	45,983	45,902	45,811
	利用料金収入 (売上)	13,809	13,163	13,745	13,412	13,830
	自主事業収入	5,702	8,105	8,876	8,725	8,518
	その他の収入	0	0	0	0	0
	計	63,711	67,337	68,603	68,039	68,159
支 出	人件費	23,334	22,570	21,696	21,989	20,671
	維持管理経費	39,142	41,767	39,465	45,762	43,460
	自主事業関係経費	4,745	6,650	7,663	7,811	7,448
	その他の支出	0	0	0	0	0
	計	67,221	70,987	68,825	75,562	71,579
収支(収入-支出)		△3,509	△3,650	△221	△7,523	△3,419

4 施設の利用促進や市民サービスの向上の取組

利用者アンケート（実施時期や具体的な方法など）
<p>① 館内にご意見BOXを設置し、頂いたご意見やご要望には適宜速やかな対応を心掛けております。</p> <p>② 体育館及び公民館の団体利用者には、使用終了後に使用状況報告書を提出頂き、各部屋ごとの状況把握を行い、快適な環境維持に努めております。</p> <p>③ 担当課と連携を取りながら、施設の問題改善に随時取り組んでおります。</p>
利用者から寄せられた意見・苦情及び対応状況
<p>【体育館・公民館共通】 要望—土日を中心に駐車場の混雑状況が知りたいです。 対応—駐車場混雑予想を毎月、館内に掲示及びホームページに掲載する様にしました。</p> <p>【体育館】 要望—シャワーの水量が少ないので直してほしいです。 対応—工具を使用してスタッフが修復しました。</p> <p>【公民館】 要望—部屋の壁面に穴が開いているので、見た目をきれいにしてほしいです。 対応—修復キットを購入してスタッフで補修を行いました。</p>
利用促進のための独自事業、市民サービスの向上の取組など（取組の内容、効果など）
<p>○新しい体育施設予約システムに関する活用の周知拡大を行いました。</p> <p>○大人数の大会等の際、弁当・パンの手売り販売、キッチンカーの設置を行いました。</p>

5 経費削減のための取組

具体的な取組内容
<p>① 電気使用量—体育館・公民館の未使用場所の消灯、業務用扇風機の設置等を行い節電に努めました。インバータの設置及び契約先の変更を継続して行った結果、前年比 98.1%でした。</p> <p>② 重油使用量—快適性を保持できる範囲で給湯用ボイラーの運転時間短縮を行った結果、前年比 93.5%でした。</p> <p>③ 水道使用量—節水ご協力の案内掲示を継続して行い前年の様に漏水も無かった結果、前年比 56.6%でした。</p> <p>④ L P G使用量—前年比 105.3%でした。</p>

6 指定管理者による総合評価

利用状況、収支状況などを踏まえて、業務改善につなげていくための総括・自己評価																																					
<p>利用状況は、今年度の利用者数（自主事業教室参加者除く）が 280,439 人となり、前年に比べて 12,691 人の増加となりました。秋川体育館は増加し、中央公民館は減少しました。要因として、ロコミ・広報活動による個人利用者数の増加、体育協会傘下の連盟協会による初心者講習会実施が挙げられます。自主事業は、参加者のニーズに合わせたスポーツ教室の展開、各種イベントの実施により、サービス向上に努めました。</p> <p>【自主事業教室参加者を含めた利用者数推移】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>利用者推移</th> <th>平成 25 年度</th> <th>平成 26 年度</th> <th>平成 27 年度</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">施設利用者</td> <td>体育館</td> <td>141,698</td> <td>161,426</td> <td>164,187</td> <td>167,983</td> <td>181,603</td> </tr> <tr> <td>公民館</td> <td>86,597</td> <td>94,361</td> <td>101,028</td> <td>99,765</td> <td>98,836</td> </tr> <tr> <td>自主事業教室参加者</td> <td>2,426</td> <td>6,415</td> <td>6,734</td> <td>5,763</td> <td>5,830</td> </tr> <tr> <td>総合計</td> <td>230,721</td> <td>262,202</td> <td>271,949</td> <td>273,511</td> <td>286,269</td> </tr> <tr> <td>前年比</td> <td>95.0%</td> <td>113.6%</td> <td>103.7%</td> <td>100.6%</td> <td>104.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>収支状況はマイナス決算となりました。支出合計では前年度に比べ費用を削減でき、年間計画の範囲内となりました。収入合計では前年度に比べ増加しました。前年度に比べ収支の改善は図られましたが、今後も、個人開放枠の周知拡大を図り、教室参加者のニーズをよりの確に捉え、施設の広報宣伝活動を行い収入の増加に努めてまいります。</p> <p>総括として、利用者が安心・安全に利用できる快適な施設運営を心掛けた結果、1 年間大きな事故なく運営することができました。</p>	利用者推移	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	施設利用者	体育館	141,698	161,426	164,187	167,983	181,603	公民館	86,597	94,361	101,028	99,765	98,836	自主事業教室参加者	2,426	6,415	6,734	5,763	5,830	総合計	230,721	262,202	271,949	273,511	286,269	前年比	95.0%	113.6%	103.7%	100.6%	104.7%
利用者推移	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度																																
施設利用者	体育館	141,698	161,426	164,187	167,983	181,603																															
	公民館	86,597	94,361	101,028	99,765	98,836																															
自主事業教室参加者	2,426	6,415	6,734	5,763	5,830																																
総合計	230,721	262,202	271,949	273,511	286,269																																
前年比	95.0%	113.6%	103.7%	100.6%	104.7%																																

平成 30 年度の課題は、修繕箇所早期発見及び対応、自主事業収支状況の向上を行うとともに、計画に対する達成率の向上を目指した運営を展開していきたいと考えています。

7 所管課による総合評価（太枠に S～B の 3 段階で評価を記入）

市民サービスの向上	
障がい者支援の取り組みや子育て世代を意識した託児付のスポーツ教室、無料の親子体操教室、エクササイズ、サーキットトレーニングなども市民の支持を得て、個人利用者の増加に貢献しているものと考えます。今後も市民各層のニーズを取り込んだ運営を継続し、サービスの向上に努めてください。	
経費削減の取組	
水道・電気・重油とも使用料が減少しており、削減の取組がなされています。しかし、原料価格の動向もあり経費削減の効果が現れるところまでは行っていません。人件費削減の取り組みもなされており、引続き創意工夫により運営の合理化に努められることを期待します。	
業務改善につなげていくための指定管理者の管理に係る総括的な評価	
事業全体の収支状況が、数年マイナスのまま推移していることが懸念されます。企業の努力により支えられていることと思いますが、自主事業への参加者数が伸びないことも要因のひとつと考えられます。市民のさまざまなニーズに応える企画を工夫され、新たな利用者の獲得により、収益が増加し、収支状況が改善することが理想ですので、引続き魅力ある施設運営に努めてください。 また、施設管理については、日常の点検を徹底することにより、光熱水費の節減及び事故のない運営に努めてください。	
総合評価	A

※評価基準

- S：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等よりも優れた指定管理業務を行っている。
- A：モニタリングチェックシートにおいて、全ての項目が「適正」であり、協定書、事業計画書等に沿った指定管理業務を行っている。
- B：モニタリングチェックシートにおいて「要改善」の項目があり、協定書、事業計画書等で定める指定管理業務の一部に課題があると認められ、改善の必要がある。